

2020年度入学前アンケート調査結果報告

<調査概要>

□ 調査の方法

調査対象 2020年度学部入学者 ※ただし、法学部入学者及び編入学・転籍者を除く

調査時期 2019年10月上旬～2020年3月31日

調査方法 記名式による郵送調査（入学手続き書類に同封）

回収状況 回収率：96.8% 対象者数：5,487人 有効回答数：5,311件

□ グラフ参照時における共通注意事項

端数処理の関係上、肯定的回答の合計と内訳が一致しないことがある。

1. 学部入学理由

図1は、「あなたがこの学部に入る理由はなんですか」（“当てはまる”～“まったく当てはまらない”の4件法）の回答結果を肯定的回答（“当てはまる”あるいは“やや当てはまる”と回答した者の割合。以下同様）の多い順に並べたものである。

「専門分野に興味があった」、「将来就きたい仕事と関係がある」、「自分の学力レベルと合っていた」、「就職に有利だと思った」の4項目は、肯定的回答が7割を超えていた。また、「より志望順位の高い大学（又は学部）に受からなかった」は、45.4%の学生が“当てはまる”あるいは“やや当てはまる”と答えていた一方、「法政大学であればどの学部でも良かった」は、“まったく当てはまらない”が53.7%、“やや当てはまる”が33.4%であった。

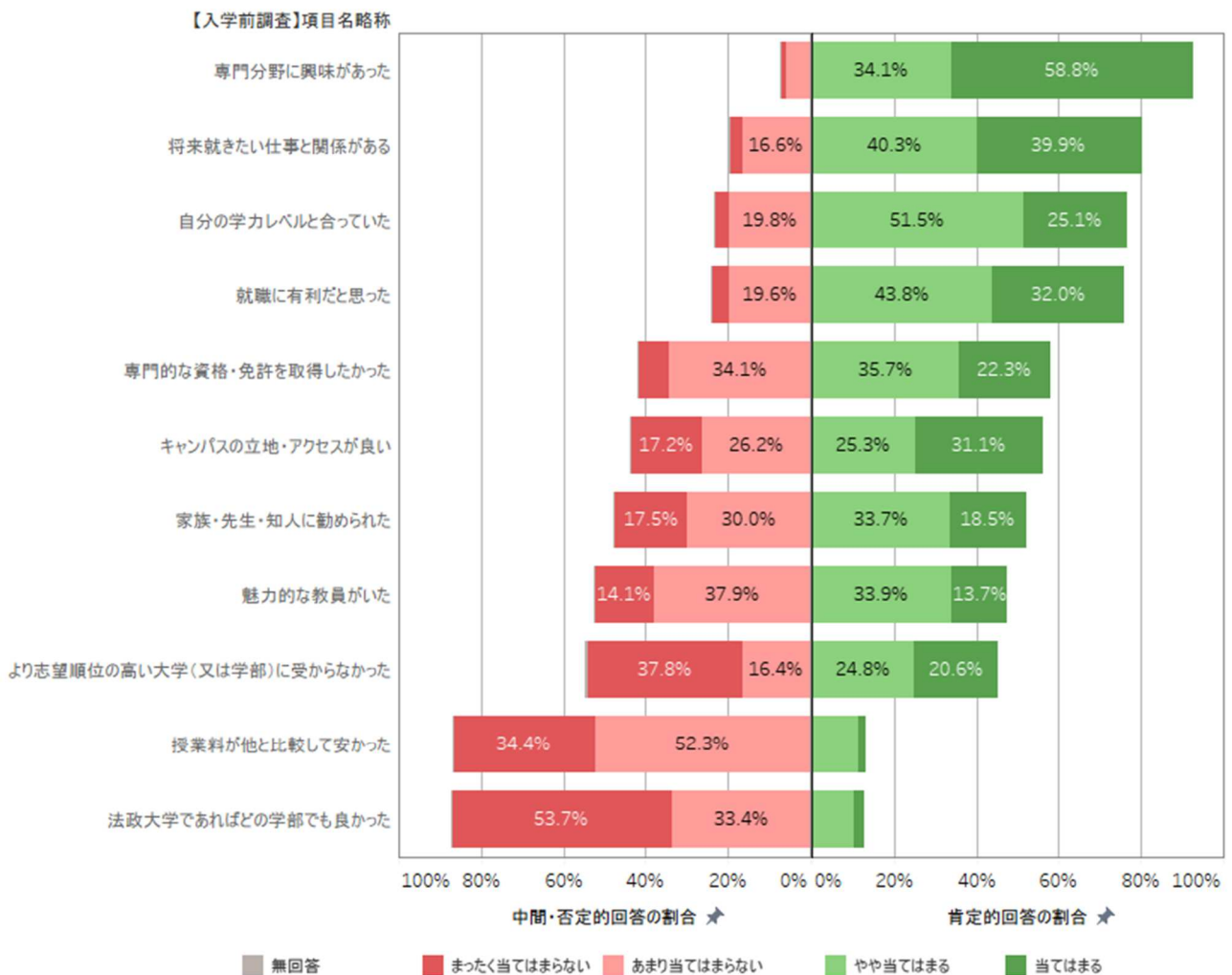


図1 学部入学理由（降順）

2. 在学中に取り組みたいこと（活動意欲）

図2は、「法政大学在学中にどのようなことに取り組みたいですか」（“そう思う”～“そう思わない”の5件法）の回答結果を肯定的回答（“そう思う”あるいは“いづらかそう思う”と回答した者の割合。以下同様）の多い順に並べたものである。

「将来の仕事に役立つ知識やスキルを身につけたい」、「広い教養・ものの見方を身につけたい」、「有意義な人間関係を築きたい」、「専門分野の知識・理解を深めたい」「社会人になるまでの時間を楽しみたい」の5項目は、いずれも肯定的回答が9割以上を占める。そして、「スポーツ・サークル活動に力を入れたい」、「資格試験・公務員試験などに合格したい」は肯定的回答が約7割を占め、「留学や国際交流に取り組みたい」は約6割と続く。

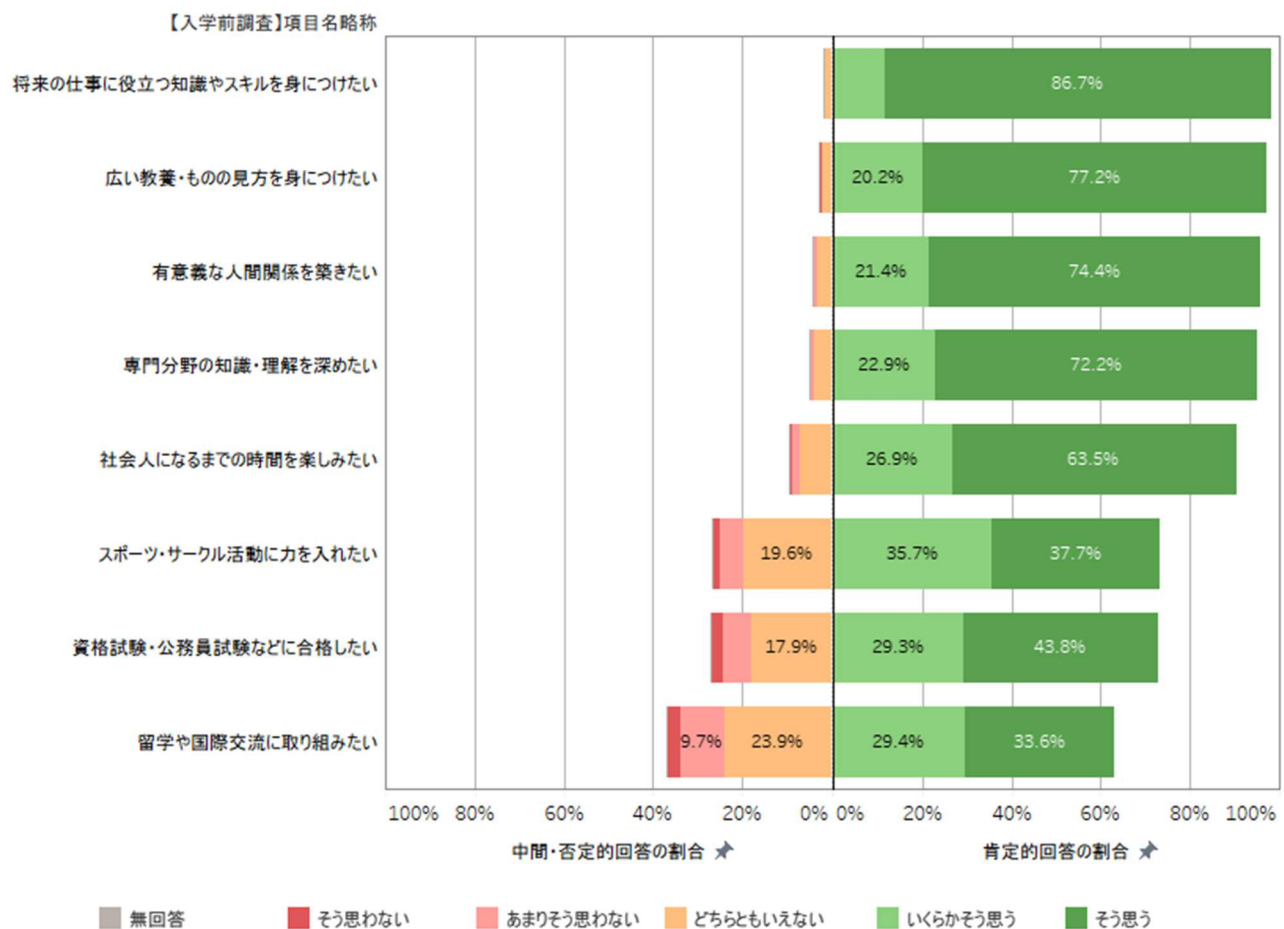


図2 在学中に取り組みたいこと（降順）

3. 入学前経験

図3は、「あなたは、入学前に次のようなことをどの程度経験しましたか」（“よく経験した”～“ほとんど経験しなかった”の4件法）の回答結果を経験多め（“よく経験した”あるいは“ある程度経験した”と回答した者の割合。以下同様）の順に並べたものである。

項目数が多いため、経験を4種類に分けて全学の結果を確認する。第1に、課題対応的学習経験として尋ねた「定期テストや模試対策の勉強」、「受験勉強」、「授業の予習や復習」は、いずれも経験多めの学生が8割以上である。第2に、交流・課外活動経験をみると、「友人との交流」はほとんどが経験し、「課外活動（部活動・ボランティア等）」と「先生との交流」は経験多めが7割以上と多い一方、「海外の人との交流」は経験の少ない学生が多い。第3に、教育環境経験として尋ねた「自分の考えや意見の発表」、「先生への勉強に関する質問」、「生徒同士の議論」は、いずれも経験多めが6割以上であるが、“よく経験した”学生はいずれも30%前後である。第4に、能動的学習経験として尋ねた「授業以外で興味のあることの勉強」、「読書（マンガ・雑誌を除く）」、「入学する学部・学科の専門分野と関係することの勉強」、「将来就きたい職と関係することの勉強」は、そのほとんどが経験多めが過半数を超えるものの、“よく経験した”学生は10%台～20%台とあまり多くない。

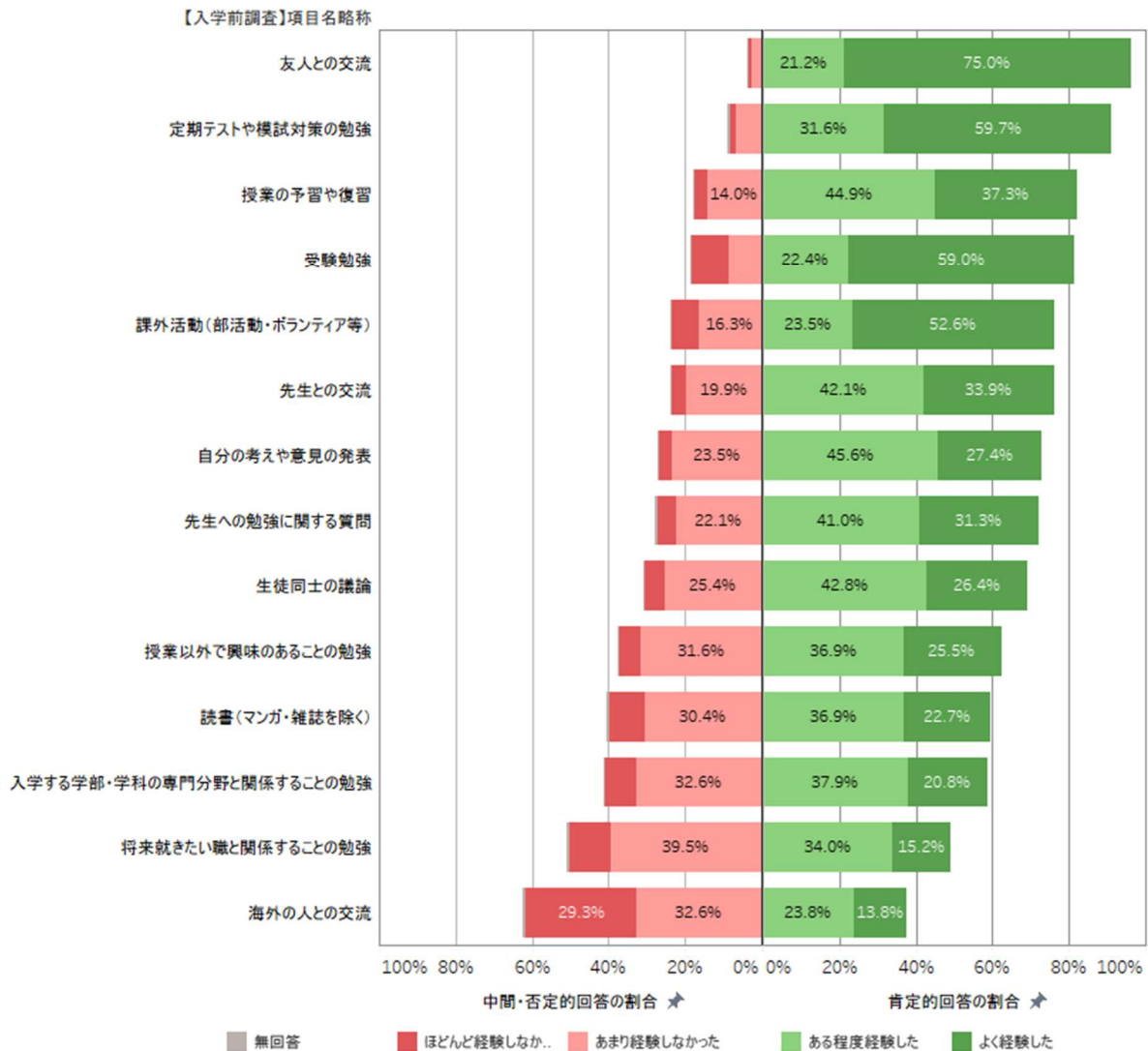


図3 入学前の経験（降順）

4. 法政大学のイメージ

図4は、法政大学に入学するにあたり良いと思うことはどのようなことですか。あなたのイメージと近いものを選んで、該当する番号を○で囲んでください（“そう思う”～“そう思わない”の4件法）の回答結果を肯定的回答（“そう思う”あるいは“いくらかそう思う”と回答した者の割合。以下同様）の多い順に並べたものである。

「伝統のある大学である」、「自由な校風の大学である」、「課外活動（部活動・サークル活動等）が活発である」、「グローバルな教育が実践されている」、「スポーツの強い大学である」、「国内外で活躍する卒業生が多い」、「国内外で社会的に活躍する教員が多い」と続き、いずれも肯定的回答が7割以上を占める。

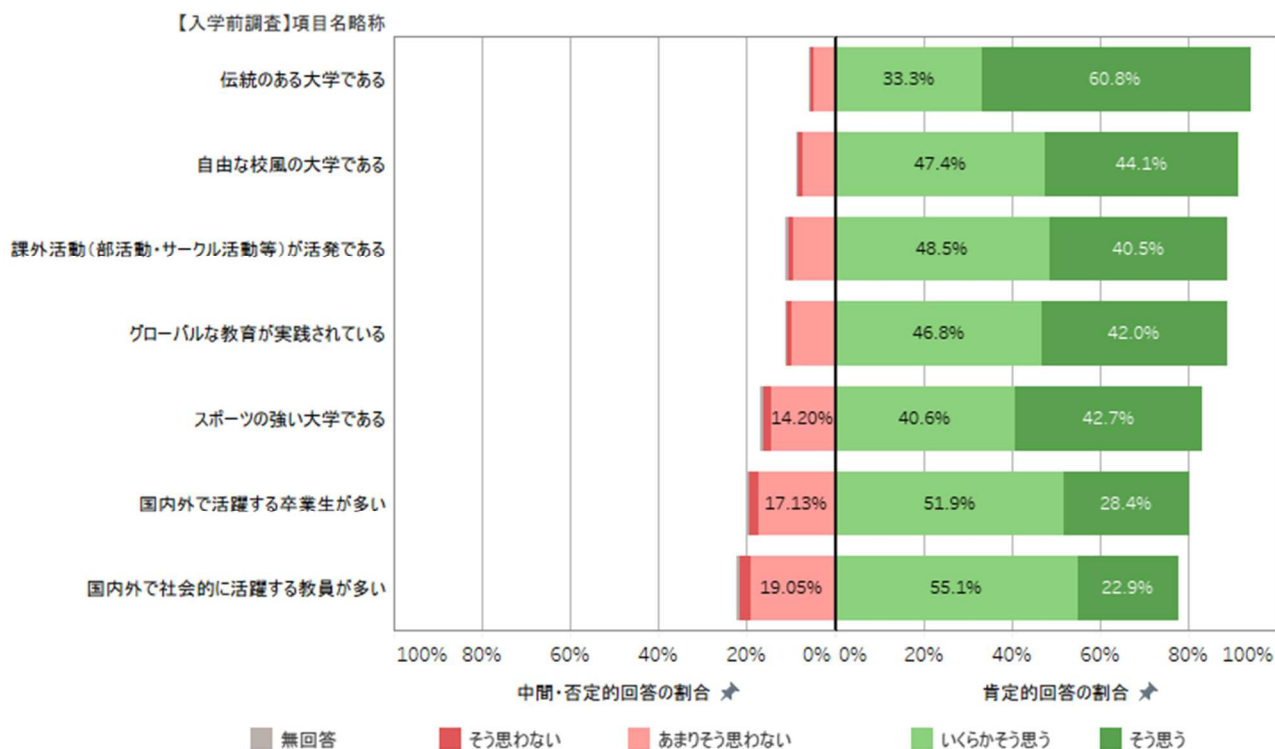


図4 法政大学のイメージ（：降順）

5. 法政大学推奨度

図5は、「もし、あなたの身近に四年制大学への進学希望者がいる場合、法政大学を勧めたいと思いますか」（“そう思う”～“そう思わない”の5件法）の回答結果である。

結果を確認すると、“そう思う”が43.5%、“いくらかそう思う”が37.4%であり、肯定的回答が約8割を占めた。

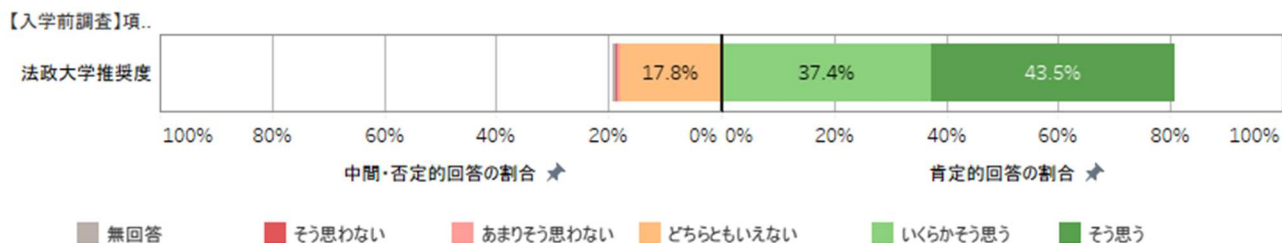


図5 法政大学推奨度

以上